

かがわ防災フェスタ 2014 への参加

香川県河川砂防課

1. はじめに

香川県は四国の東北部に位置し、南高北低の地形を呈し南部に連なる標高約 700m～1,000mの讃岐山脈から丘陵地帯を経て、北部に広がる讃岐平野へ向かって緩やかに低くなっています。このような地勢上に発達した河川は、おおむね讃岐山脈に源を發し瀬戸内海に注いでおり、流路延長は短く河床勾配は 1/200 以上の急流河川が多いのが特徴です。

また地質的には讃岐山脈は和泉層群（主として砂岩と頁岩の互層）で構成されており、その他はほとんどが花崗岩類からなっています。和泉層群は特に頁岩の風化が進み、また花崗岩類も相当の深さまでマサ状を呈しており、風化が進んでいます。このため、香川県の地質は総じて雨に脆く、ひとたび大雨に見舞われると大規模な土砂災害が発生する危険性があります。

2. 平成 16 年の土砂災害について

香川県では、平成 16 年の度重なる台風の襲来によって、戦後最大級の被害が発生し、洪水や土石流等により、19 人もの尊い命が失われ、負傷者も 46 人に上りました。

特に、台風 15 号や台風 21 号では、西讃地域を中心に大規模な土石流による被害が発生し、また台風 23 号では、東讃地域を中心に河川護岸の決壊や崩壊、及び大規模な土石流による被害が発生しました。

このため土砂災害による再度災害を防止するため、東かがわ市、さぬき市、観音寺市の 19 溪流において「災害関連緊急砂防事

業」を、また 33 溪流において「砂防激甚災害対策特別緊急事業」を平成 17 年度から実施し、平成 21 年度 3 月をもって全箇所を無事に完了しました。

3. かがわ防災フェスタ 2014 への参加

今年平成 16 年の災害から 10 年が経過し、節目の年を迎える事から、7 月 19 日に高松市生島町の県消防学校で開催された「かがわ防災フェスタ 2014」に参加し、土砂災害防止の普及啓発に努めました。

防災フェスタでは、香川県の防災ヘリ「オリーブ II」の訓練や機体見学、消防車・救急車・自衛隊車両の体験乗車、自衛隊による災害時に作るカレーの試食、AED の取扱い等を学ぶ応急手当教室等が行われます。

さらに今年は、河川砂防課が出展した、「土砂災害の模型装置」や、「降雨体験装置」及び「土砂災害 3D 体験シアター」なども大人気となり、昨年（約 1,000 人）を大きく上回る約 1900 人の参加がありました。

土砂災害の模型では、子供達が土砂災害のメカニズムに興味深く学んでくれました。

また、降雨体験や 3D シアターによる災害体験では、災害の驚異を身を持って実感してもらえました。

【河川砂防課の展示】

- ・土砂災害（土石流、がけ崩れ、地すべり）の模型装置を展示し、土砂災害のメカニズムを体験してもらう。
- ・平成 16 年の災害状況等のパネルの展示
- ・土砂災害絵画コンクール受賞作品の展示
- ・土砂災害防止関係のチラシ、うちわ、簡

易雨量測定器等の配布

- ・ロープワーク作業の体験
- ・降雨体験装置による大雨の体験
- ・土石流 3D 体感シアターによる臨場感のある土石流の映像の体験



河川砂防課の展示ブースの様子



模型装置で土石流を体験する様子



模型装置で地すべりやがけ崩れを
体験する様子



降雨体験装置による大雨を体験



土石流 3D 体感シアター

4. 最後に

今後も砂防ダムなどのハード対策に加え、今回のような土砂災害防止啓発活動により、過去の土砂災害の記憶を風化させないようにするとともに、多くの方に土砂災害に対する知識と関心を持ってもらうように努めていきたいと考えています。

今回、暑い中ご協力いただきました香川県砂防ボランティア（県 OB）の皆様、降雨体験装置等を快くご提供いただきました国土交通省四国地方整備局並びに、四国山地砂防事務所の皆様に感謝申し上げます。